

3.1.2 調査項目の選定理由

調査項目を選定する理由を表 3.1-2 に示した。

表 3.1-2 調査項目の選定理由

項目		選定する理由	
環境要素の区分	影響要因の区分		
大気環境	大気質	工事中	工事等による建設機械の稼働及び工事用車両の運行に伴う粉じん等により生活環境が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として粉じん等を選定する。
	騒音	工事中	工事等による建設機械の稼働及び工事用車両の運行に伴う騒音により人の健康と生活環境が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として騒音を選定する。
	振動	工事中	工事等による建設機械の稼働及び工事用車両の運行に伴う振動により人の健康と生活環境が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として振動を選定する。
水環境	水質	工事中	工事等による濁水の発生や、ダム の 堤 体 の 工 事 に よ る コ ン ク リ ー ト か ら の アルカリ分の流出により生活環境や水利用が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として土砂による水の濁り、水素イオン濃度の2項目を選定する。
		ダム供用後	ダム の 供 用 及 び 貯 水 池 の 存 在 に よ る 濁 水 の 長 期 化 、 貯 水 池 内 及 び 下 流 の 水 温 変 化 、 富 栄 養 化 、 溶 存 酸 素 量 の 減 少 に よ り 生 活 環 境 や 水 利 用 が 影 響 を 受 け る お そ れ が 有 る た め 、 調 査 項 目 と し て 土 砂 に よ る 水 の 濁 り 、 水 温 、 富 栄 養 化 、 溶 存 酸 素 量 の 4 項 目 を 選 定 す る 。
土壌に係る環境その他の環境	地形及び地質	ダム供用後	貯水池の存在等により重要な地形及び地質が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として地形及び地質を選定する。
植 物		工事中	工事等により重要な種及び群落に影響を受けるおそれがあるため、調査項目として植物を選定する。
		ダム供用後	貯水池の存在等により重要な種及び群落に影響を受けるおそれがあるため、調査項目として重要な種及び群落を選定する。

動 物	工事中	工事等により重要な種が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として動物を選定する。
	ダム供用後	貯水池の存在等により重要な種が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として動物を選定する。
生態系	工事中	工事等により生態系が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として生態系を選定する。
	ダム供用後	貯水池の存在等により生態系が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として生態系を選定する。
景 観	ダム供用後	貯水池の存在等により主要眺望地点から景観資源を眺望する景観が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として景観を選定する。
人と自然との触れ合いの活動の場	工事中	工事等により主要な人と自然との触れ合いの活動の場が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として人と自然との触れ合いの活動の場を選定する。
	ダム供用後	貯水池の存在等により主要な触れ合いの活動の場が影響を受けるおそれがあるため、調査項目として人と自然との触れ合いの活動の場を選定する。
廃棄物等	工事中	工事等による建設発生土等の建設工事に伴う副産物が発生するおそれがあるため、調査項目として廃棄物等を選定する。